

四国森林管理局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成29年7月13日)

開催日及び場所		平成29年6月21日(水曜日) 四国森林管理局 1階会議室		
委員		斉藤 章 (公認会計士) 坂本 伸廣 (税理士) 中内 功 (弁護士)		
審議対象期間		平成29年1月1日～平成29年3月31日		
審議対象案件		100件 うち、1者応札案件 34件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件		16件(抽出率16%) うち、1者応札案件 6件 (抽出率18%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 0%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	5件 うち、1者応札案件 1件	
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	該当なし	
	業務	一般競争	1件 うち、1者応札案件 0件	
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
			その他の随意契約	該当なし
	物品・役務等	一般競争	9件 うち、1者応札案件 5件	
		指名競争	該当なし	
		随意契約(企画競争・公募)	該当なし	
		随意契約(その他)	1件	
(特記事項) なし				

	意見・質問	回答等
委員らの意見・質問それぞれに対する回答等	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 等級の工事の競争参加資格には「当該工事の施工計画に係る技術提案書が適正であること」との項目があるが、C 等級の工事の競争参加資格に、この項目がないのはなぜか。 ・ 工事関係の落札率が予定価格に対して9割強と高いものとなっているが、業者は予定価格の積算方法を知っているのか。 ・ 素材生産事業の入札を総合評価落札方式で行う基準は何か。 ・ 物品購入の入札結果を見ると、1者応札となっているものがあるが、1者応札改善のために何か取り組みを行っているか。 ・ 一般廃棄物（木皮）処理業務の予定価格はどのように積算しているのか。 ・ 物品を購入する場合の予定価格はどのように積算しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に技術提案書は、工事の等級に関わらず提出するものと認識しているが確認したい。 ・ 工事の積算要領、労務単価、資材単価等は公表されているため、予定価格に近い金額を積算することは可能と考える。 ・ 路網を整備し高性能林業機械を使って木材を搬出する場合や取水地など周辺環境への配慮が必要な場合は、総合評価落札方式としている。 ・ 応札者が1者だった場合は、アンケートや電話等によるヒアリングを行い、1者応札となった原因を調査し応札者を募るための改善策を検討している。 ・ 一般廃棄物（木皮）処理に係る積算要領を定めていないため、近隣の産廃業者から取り引きの実例価格を聞き取り、その結果を基に予定価格を積算している。 ・ 複数の業者から徴取した定価見積書、カタログ価格を参考にして予定価格を積算している。
	委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]	特になし